

② 地域環境保全への取り組み

当社は、国の法令や地域との協定等を遵守するとともに、環境負荷の排出を抑制するため、最新の環境保全対策技術を導入して、設備の適切な管理を実施しています。

また、自然と調和した発電所づくりを進めて地域環境との調和を図るとともに、資源の再生・再利用に努め、廃棄物の低減を図ることにより、循環型社会の構築に向け取り組んでいくことが重要と考えています。

さらに、国内で培ってきた技術を世界の国々に移転することにより、環境保全に貢献していきます。

環境負荷の排出抑制

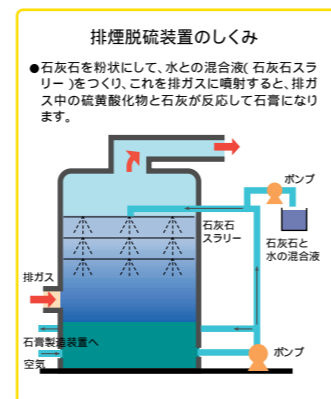
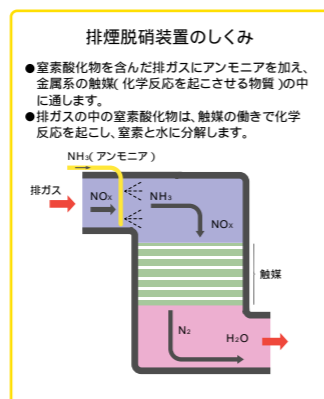
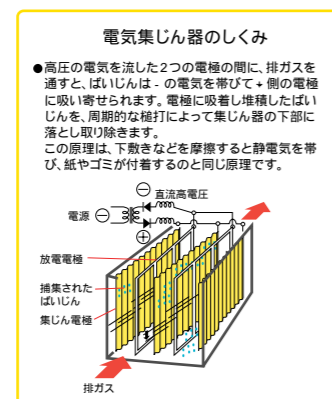
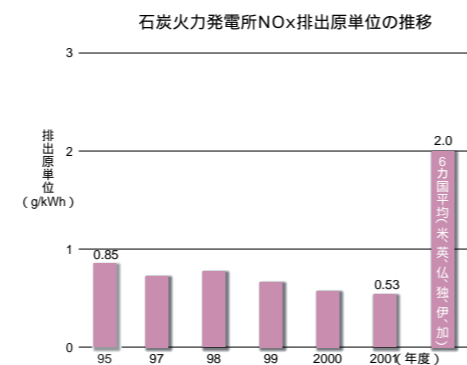
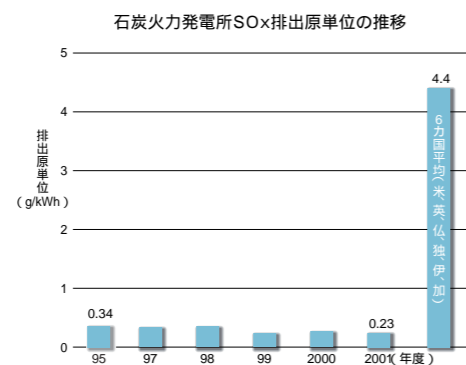
大気汚染防止

石炭火力発電所では、電気集じん器、排煙脱硫装置、排煙脱硝装置などの各種環境保全対策機器の導入や、その確実な運用に努め、大気汚染の防止に努めています。

特に硫酸酸化物(SO_x)、窒素酸化物(NO_x)の排出原単位は、欧米主要国と比較しても極めて低い水準で安定しています。

2001年度の排出原単位(石炭火力の発電電力量当たりの排出量)はSO_x 0.23g/kWh、NO_x 0.53g/kWhとなりました。

今後もこうした取り組みを継続し、硫酸酸化物、窒素酸化物の排出を低い水準に抑制していきます。



水質汚濁防止

石炭火力発電所からの排水には、排煙脱硫装置で使用した水や生活用水などがあり、周辺環境に影響をおよぼさないように、総合排水処理装置で十分浄化したうえで排水しています。

また、火力発電所では、蒸気の冷却用に海水を取り、温排水として放流しています。温排水は周辺海域の海生生物等に影響を与えないよう、立地条件にあった取水・放水方式を採用して、適切に管理しています。

騒音・振動防止

石炭火力発電所では、ボイラー、タービン、送風ファンなどの騒音や振動を発生する設備については、低騒音・低振動型の機器を採用したり、建屋内へ収納することにより、騒音・振動問題の発生防止に努めています。

また、屋外に設置される設備についても、低騒音・低振動型の機器を採用するとともに、必要に応じて防音カバー・防音壁などを設置しています。

